



トッケンHP



トッケンチャンネル

いつでも気軽に開催できちゃう

夏の強い日差し
冬の寒い日
雨の日

トッケンの屋内運動遊具を使って、プチ運動会(障害物競争)を行ってみては「緩」と「急」「高」と「低」の組合せです。

屋内で運動会のススメ



1 おもめのベンチ

スタート直後は勢いよく走ってくるので、**高さのある平均台**(おもめのベンチ)でスピードを落とさせます。

緩

ジグザグに配置して、平均台の代わりにします。両端2本にテープを貼って真ん中2本を渡らせませす。

徐々にスピードアップ!

急

2 ステッピータイヤ

/低い位置\



低い位置に設置したステッピータイヤを跳んで駆け抜けます!

急



緩

「高い」位置で「緩」の運び。前まわりや逆上がり。できないお子さんには、先生が補助をしてあげます。

3 折りたたみ鉄棒

/高い位置\

大縄が跳べるなら、回している大縄を跳ばせてもOK!

「へび」や「小波」など跳び越えます。

4 なわとびポール

/低い位置\

急

6 プレイベース

2つ並べたプレイベースを割って思いっきり走ってそのままゴール!

ダッシュ



緩

5 アニマルスプーンレース

カーブを利用して、**ゆっくり慎重になる運動**を取り入れます。このあたりで順位が入れ替わると盛り上がります!

トッケンかわら版

トッケンTシャツがトレンド!?

今月に入り、内覧会の際に作ったトッケンTシャツを着ているスタッフが増えてきました。「いつの間にかトッケンTシャツを着て作業をする人が増えたので、僕も流行のついでにしてみました」と生産部の清水主任、作業用のユニフォームはもちろん、展示会出展のスタッフTシャツとしても重宝しています! (写真①)

反響続々!

前号でドーンと紹介したトッケン営業部。「トッケンだより」に出たね!とわざわざ連絡してくださったお客様もいたんですよ!と嬉しそうに報告してくれた営業部の沖田さん。「私も電話口でトッケンだより出てたね」と言われます」と、「トッケンかわら版」に登場した営業事務の武田さんも反響を実感。たくさんのお客様がトッケンだよりを見てくれてるんだなあ、スタッフみんな喜んでます! (写真②)

試作、試作&試作!!

日々、新製品の試作を重ねている企画開発室。布製品の場合、まずは紙でパターンを組んでイメージに近づけていきますが、布でやってみるとイメージが全然違ったり...なんてことも日常茶飯事。イメージ通りのカタチになるまで、とにかく手を動かして動かして、試行錯誤を繰り返します! (写真③)

塗装からメンテナンスまで

トッケンだより4月号でご紹介した縫製室のカシメ機が不調とのことで、塗装部門の若狭さんがメンテナンスを行いました。「構造が単純なので、どこに原因があるかわかりやすいんです」と駆動部分を順番にチェックします。原因は古くなった機械油でした。新しい油をさし、細かい溝の汚れをきれいにしてメンテナンス終了。塗装だけでなく機械のメンテナンスまでこなす若狭さん、お見事です! (写真④)



企画開発 もつくりの現場に おじゃましていきます

第9回 [企画開発のシゴト]

今回は企画開発の現場から、トッケンの商品開発がどのように行われているかをご紹介します。



布モノも社内で試作します

100均で手頃な部材を調達することも

EVAでの試作

鉄工部門との試作打ち合わせ

図面を元にプロトタイプを制作します。社内の鉄工部門、縫製部門、塗装部門だけでの対応では難しい場合、取引先などと連携をとりながらすすめていきます。

企画会議



スタート!!

発想した「きっかけ」「問題意識」など、開発動機を話し合います。その後、競合や市場でのポジションなど具体的な検討を行います。



▲オリジナルの商品開発シートを活用

素材の選定



試作に向け、素材の選定を行います。社内に対応できる「スチール」が適切ではない場合には、その商品に適切な素材を検討します。



試作づくり



プレイベースの初期構想▶



◀細かく数値を出した設計図

素材が決まったら設計にすすみます。「構想設計」「基本設計」「詳細設計」の3つのプロセスにわけ、安全性を第一に図面を起こしていきます。



設計



4 何回も繰り返します

3

モニタリング

楽しんでもらえるか
ときどきです



現場でのモニタリングを実施します。子どもの遊ぶ様子や先生の意見を参考に修正点や改善点はないかを確認します。



▲子どもの反応を見る貴重な機会です

5

商品化!

モニタリングの結果を踏まえて微調整を行った後、発送(梱包)仕様の確認、商品政策(MD)を経て完成です!



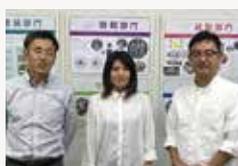
▲遊び方動画

◀遊び方チラシ

ゴール!ではなく...
新たなスタートです!

発売後もさらに商品の良さを知ってもらうため、動画や紹介記事の作成など様々な販促コンテンツを手がけます。

6



企画開発室
奥村裕次 / 藤森晶子 / 森行正
新製品の開発の他にも、既存製品の改良や、販促コンテンツの制作なども企画開発室の仕事です。「ついに WEBリニューアルにも着手しました。乞うご期待!」(Yuki)

今月のゆうぐ YUUGU OF THE MONTH

第9回 [フラチェア]

多動の特性のあるお子様の姿勢維持のトレーニングができる一本足のバランスチェア。玉あてや腕相撲など、他の遊びと組み合わせても楽しめます。

姿勢を保つ
トレーニングに



集中力と高める



不安定な座面から落ちないように...とゲーム感覚で姿勢維持のトレーニングができます。自分の好きな角度を試行錯誤しながら、傾いたバランスを楽しみながら姿勢を保つ使い方も。



多動の特性をもつお子様には、ゆらゆら揺れることのサポートになります。揺れる労力を少なくすることで、他のことに集中して取り組むことができます。

安全性と
使いやすさ

現場で安心して使っていただけるように、転倒防止ストッパーや、脚部の先端にフェルトをつけるなどの工夫をしています。



脚の裏のフェルトは床の傷つき防止に!

他の遊びと
組み合わせ

フラチェアに座りながら、的あてをしたり、腕相撲をしたりとアイデア次第でさまざまな遊びと組み合わせ使うことができます。



【編集後記】

先日夏に活躍した保育園のプールの解体のお手伝いに行ってきました。当日はまだ暑かったのですが、役目を終えたプールは何となく寂しげに見えました。次回の活躍はまた来年! (営業部 後藤) ●先月は展示会ラッシュで、企画室では展示サンプルの作成や手配をしていました。営業部から当日の様子を聞いてみると、一般の園の先生も、特別支援向けの製品を「うちでも試してみようかしら」と手に取る場合が多らしく、一般の園にも確実に需要があることを実感。開発中の特支の新製品も気軽に導入できるような親しみやすい遊具にしていきたいなと思いました。(企画開発室 藤森) ●上のコーナーでも書きましたが、いよいよWEBのリニューアルをスケジュールに入れました!年内には発表できるといいなあと思っているのですがどうかな... (Yuki)



ケンタの雑節

【最終回～雑節とは?】



日本人の生活文化から生まれた暦日で、全部で9つあります。主に農作業と照らし合わせた季節の目安となっており、日本の気候風土に合わせてあるため、長い間に培われてきた日本人の知恵と経験の集約といえます。

▲お芋が美味しい季節になりました。